

1. 年代別の回答状況

郵送調査の場合、若い人ほど調査そのものへの関心度は一般的に低いため、若年層の回答率は低くなってしまふのが普通である（「社会調査へのアプローチ[大谷信介編著]」などを参照）。そのため、各設問の集計結果を見る前に、年代別の回答状況について説明しておきたい。

- * 年代ごとに回答率を見ると、私が過去に実施した調査や一般的な傾向とも合致する形で、やはり年齢層が低くなるほど回答率も伸び悩む結果となった（図1参照）。したがって、各年代の回答者数の割合に関しては、どの年代でも、小金井市における実際の人口構成比とは、やや乖離していると思われる。男女別で見ても、女性の回答がやや多かったため、やはり同様に乖離が見られる。これらのことから、今回の調査結果の解釈には、一定の限界があることを述べておかねばならない。だが一方で、今回の小金井市の調査では、調査対象者2332名の半数以上が20～40代の若年層であったため、その分、有効回答844件に占めるこれら若年層の割合も約4割と比較的高く、その点において十分な価値を有する調査データであることも付記しておく。

図1 小金井市アンケート:年代別回答率

